

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-101989

(43)Date of publication of application : 15.04.1997

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 19/00

G06K 17/00

(21)Application number : 07-282436

(71)Applicant : OKI HIROKO

(22)Date of filing : 03.10.1995

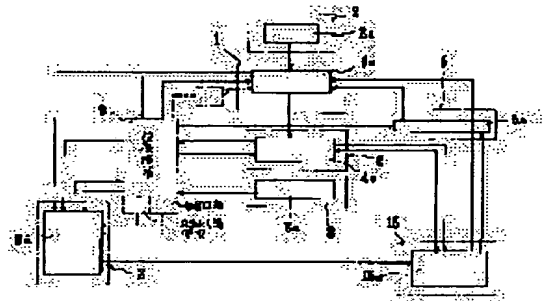
(72)Inventor : OKI HIROKO

(54) CARD SYSTEM FOR MEDICAL CARE INSURANCE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a card system for medical care insurance with which the measure of welfare can be easily received without requiring much labor and time for office work processing.

SOLUTION: A pool fund account managing means 1a of a fund pool organization 1 is linked to a medical care service management processing means 3a of a medical care service providing organization 3, certifying organization office work processing means 4a of a medical care necessity certification managing organization 4, insurance organization office work processing means 5a of an insurance organization 5 and substitutive office work processing means 15a of a system managing organization 15. Then, the certifying organization office work processing means 4a is linked with the IC card of a person 9 to be insured, substitutive office work processing means 15a and insurance organization office work processing means 5a, the medical care service managing processing means 3a is linked with the person 9 to be insured, his/her IC card and substitutive office work processing means 15a, and the insurance organization office work processing means 5 is linked to the substitutive office work processing means 15a, the IC card of the person 9 to be insured, and pool fund account managing means.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 28.02.1997

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2673798

[Date of registration] 18.07.1997

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

第2673798号

(45) 発行日 平成9年(1997)11月5日

(24) 登録日 平成9年(1997)7月18日

(51) Int.Cl. ⁹	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/60			G 0 6 F 15/21	3 6 0
19/00			G 0 6 K 17/00	B
G 0 6 K 17/00				L
			G 0 6 F 15/21	3 4 0 Z
			15/30	T
請求項の数 4 (全 4 頁)				

(21) 出願番号 特願平7-282436

(22) 出願日 平成7年(1995)10月3日

(65) 公開番号 特開平9-101989

(43) 公開日 平成9年(1997)4月15日

早期審査対象出願

(73) 特許権者 594051998

沖 博子

名古屋市天白区平針2丁目1013番地

(72) 発明者 沖 博子

名古屋市天白区平針2丁目1013番地

審査官 広岡 浩平

(56) 参考文献 特開 平8-329153 (J P, A)

特開 平9-134385 (J P, A)

特開 平9-134386 (J P, A)

特開 平9-134387 (J P, A)

特開 平4-229368 (J P, A)

特開 平6-149884 (J P, A)

(54) 【発明の名称】 介護保険用カードシステム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 保険機関(5)と契約した被保険者(9)のうち要介護認定機関(4)により資格認定された者が介護サービス提供機関(3)で介護サービスを受けたとき、公的負担金とともに被保険者(9)が支払った保険料をプールしてある資金プール機関(1)から介護サービス提供機関(3)に対して介護サービス料の一部が支払われるようにした介護保険に用いる介護保険用カードシステムであって、要介護認定機関(4)には被保険者(9)から出された要介護申請に基づき有資格者に対して資格に応じたサービス点数が記録されたICカードを交付する機能を有する介護認定事務処理手段(4a)を設ける一方、介護サービス提供機関(3)には提供した介護サービスに応じて定められた介護サービス料を計算してその内の保険機関負担分を被保険者(9)より提示されたICカードからカウ

ントダウンするとともに保険機関(5)に対する介護サービス提供実績データの出力機能を有する介護サービス管理処理手段(3a)を設け、また、保険機関(5)には被保険者(9)への資格証交付機能と、前記介護サービス管理処理手段(3a)からの介護サービス提供実績報告データをもとにして前記資金プール機関(1)に対して介護サービス料の保険機関負担分支払を指示する機能と、各被保険者(9)のICカードに記録されたサービス点数をチェックして余剰のサービス点数に対応する給付金を被保険者(9)に対して支給するよう資金プール機関(1)に指示する保険機関事務処理手段(5a)を設け、さらに、資金プール機関(1)には保険機関事務処理手段(5a)からの指示に基づき介護サービス料の保険機関負担分の介護サービス提供機関(3)に対する支払処理と被保険者(9)に対する給付金の支給とを行うプール資金会計管理手段(1a)を設

けたことを特徴とする介護保険用カードシステム。

【請求項2】 ケアプランを策定して被保険者のICカードにケアプランデータを登録するケアプラン管理手段(8a)を有するケアマネジャー機関(8)がリンクされる請求項1に記載の介護保険に用いる介護保険用カードシステム。

【請求項3】 保険機関(5)の保険機関事務処理手段(5a)のうち介護サービス提供機関(3)からの報告データをもとにした資金プール機関(1)に対する介護サービス料の保険機関負担分支払の指示が、保険機関(5)より委託されたシステム管理機関(15)に設けられた代行事務処理手段(15a)により行われる請求項1または2に記載の介護保険に用いる介護保険用カードシステム。

【請求項4】 保険機関(5)の保険機関事務処理手段(5a)にシステム管理機関(15)と要介護認定機関(4)の事務費を処理実績に応じ算出して資金プール機関(1)に支払を指示する機能を付加してある請求項3に記載の介護保険に用いる介護保険用カードシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、要介護者の介護サービスを効率よく行う介護保険用カードシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】介護を必要とする高齢者が種々の福祉施策を受けるには、市町村や保険機関等に要介護の認定申し込みを行って資格証が交付された後、受ける介護サービスに応じて種々の書類を申請しなければならず、書類申請の事務手続きに手間がかかるうえに、介護度や介護サービスの違いにより異なる料金、各機関との事務手続き等、複雑多岐にわたる事務処理に多くの人手と時間がかかるという問題があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は要介護者が福祉施策を簡単に受けることができるうえに、事務処理に人手と時間を要することのない介護保険用カードシステムを提供することを目的としたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】前述の目的を達成するために本発明の介護保険用カードシステムは、保険機関と契約した被保険者のうち要介護認定機関により資格認定された者が介護サービス提供機関で介護サービスを受けたとき、公的負担金とともに被保険者が支払った保険料をプールしてある資金プール機関から介護サービス提供機関に対して介護サービス料の一部が支払われるようにした介護保険に用いる介護保険用カードシステムであって、要介護認定機関には被保険者から出された要介護申請に基づき有資格者に対して資格に応じたサービス点数が記録されたICカードを交付する機能を有する認定機関事務処理手段を設ける一方、介護サービス提供機関に

は提供した介護サービスに応じて定められた介護サービス料を計算してその内の保険機関負担分を被保険者より提示されたICカードからカウントダウンするとともに保険機関に対する介護サービス提供実績データの出力機能を有する介護サービス管理処理手段を設け、また、保険機関には被保険者への資格証交付機能と、前記介護サービス管理処理手段からの介護サービス提供実績報告をもとにして前記資金プール機関に対して介護サービス料の保険機関負担分支払を指示する機能と、各被保険者のICカードに記録されたサービス点数をチェックして余剰のサービス点数に対応する給付金を被保険者に対して支給するよう資金プール機関に指示する保険機関事務処理手段を設け、さらに、資金プール機関には保険機関事務処理手段からの指示に基づき介護サービス料の保険機関負担分の介護サービス提供機関に対する支払処理と被保険者に対する給付金の支給とを行うプール資金会計管理手段を設けたことを特徴とするものである。

【0005】

【発明の実施の形態】次に、本発明の好ましい実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。1は国2の負担金支払処理手段2aからの公的負担金を被保険者9から納入された保険料とともにプールするプール資金会計管理手段1aを備えた資金プール機関であって、このプール資金会計管理手段1aは前記した国2の負担金支払処理手段2aの外、介護サービス提供機関3の介護サービス管理手段3a、要介護認定機関4の介護認定事務処理手段4a、被保険者9、保険機関5より委託されたシステム管理機関15のシステム管理手段15aとにリンクされている。なお、被保険者9からの保険料は金融機関7を介して振り込みあるいは直接入金されるものとする。また、プール資金会計管理手段1aには保険機関5の保険機関事務処理手段5aから出力される補助金支給指示データを読み込んでそのデータに基づき被保険者9への補助金支給を金融機関7を介して振り込みあるいは直接支払を行うとともに、保険機関5より委託されたシステム管理機関15に設けられた代行事務処理手段15aから出力される介護料の保険機関負担分と事務費支払指示データを読み込むようにしている。そして、プール資金会計管理手段1aは介護サービス提供機関3の介護サービス管理手段3aへの介護料の保険機関負担分支払処理を金融機関7を介して振り込むか、直接支払うことにより、支払の処理完了データを書き込むこととなる。さらに、プール資金会計管理手段1aは要介護認定機関4の介護認定事務処理手段4aへの事務費支払処理を金融機関7を介して振り込むか直接支払うことにより支払完了のデータを書き込むものである。

【0006】また、前記要介護認定機関4の介護認定事務処理手段4aは被保険者9とICカードを介してリンクされるとともに、システム管理機関15の代行事務処理手段15aと、保険機関5の保険機関事務処理手段5

aと、資金プール機関1のプール資金会計管理手段1とにリンクされるもので、要介護認定機関4は被保険者9からの要介護認定申請に基づいて審査を行い、要介護認定にともなってICカードを交付する。そして、要介護認定機関4の介護認定事務処理手段4aは定期的に被保険者のICカードから介護サービス受給実績データの読み込みを行うとともに、被保険者9の介護度変更申請に基づきICカードの要介護度の更新を行うものである。さらに、介護認定事務処理手段4aはシステム管理機関15の代行事務処理手段15aから出力される介護サービス提供実績データを読み込むとともに、代行事務処理手段15aへの計算事務委託に基づく計算用データを出力する。そして、計算事務委託による代行事務処理手段15aへの事務費支払処理を金融機関7を介して振り込むか直接支払により行うことにより、代行事務処理手段15aへの入金処理が行われるとともに、介護認定事務処理手段4aに支払完了のデータを書き込むこととなる。また、介護認定事務処理手段4aは保険機関5の保険機関事務処理手段5aから出力される保険料の納入状況を記録した保険料納入データを読み込むものである。

【0007】また、前記介護サービス提供機関3の介護サービス管理手段3aは被保険者9とリンクされるとともに、システム管理機関15の代行事務処理手段15aとリンクされるものであり、介護サービス提供機関3は被保険者9からの介護サービス提供申込みに応じてICカードのデータを介護サービス管理手段3aに読み込ませて申込みを行った被保険者9に介護資格の有無を確認する。そして、資格の確認後には介護サービスの提供処理を行うとともに、介護サービス管理手段3aが介護サービス提供に応じた介護サービス提供実績の書き込み処理とICカードに登録された給付限度と書き込まれた介護サービス提供実績との照合演算を行って可能給付数の表示を行うこととなる。また、被保険者9が介護サービス提供機関3へ介護料の本人負担分を金融機関7を介して振り込むか民間介護保険あるいは年金口座を介して振り込むか直接支払うことにより、介護サービス管理手段3aに入金が記録される。さらに、介護サービス管理手段3aは介護サービス提供実績データをシステム管理機関15の代行事務処理手段15aに出力する。

【0008】さらに、前記保険機関5の保険機関事務処理手段5aはシステム管理機関15の代行事務処理手段15aと、被保険者9と、資金プール機関1のプール資金会計管理手段1aとにリンクされるものであり、保険機関事務処理手段5aが被保険者9の補助金給付申請に基づき介護サービス提供に応じた書き込み処理された介護サービス提供実績と、ICカードに登録された給付限度との演算を行い、給付可能であれば補助金支給指示をプール資金会計管理手段1aに出力するとともに、ICカードに登録された給付限度のカウントダウン処理を行う。8aはケア管理機関8のケアプラン管理手段であ

り、該ケアプラン管理手段8aは被保険者9からのケアプラン作成依頼によりケアプラン策定用アセスメント表に基づいてケアプランを作成して提示し、該ケアプランを被保険者のICカードに登録するものである。

【0009】このように構成されたものは、保険料を納付している被保険者が保険機関5から交付された資格証に基づいて要介護認定機関4に要介護認定申請を行い、認定すべきとの結論に達すると、要介護認定機関4は被保険者9にICカードの交付を行う。次に、被保険者9は必要に応じてケア管理機関8にケアプランの作成依頼をする。この依頼に基づいてケア管理機関8はケアプラン策定アセスメント表から被保険者9にマッチするケアプランを作成して被保険者に提示し、被保険者9の承諾後、ICカードにケアプランを登録する。このようなICカードを所有した被保険者は、ICカードをもって介護サービス提供機関3に介護サービス提供の申込みを行えば、介護サービス提供機関3の介護サービス管理手段3aがICカードのデータを読み込みを行い、ICカードに登録された給付限度と給付実績を照合して給付限度の表示をする。そして、被保険者9の給付限度が越えていなければ、ICカードに登録されたケアプランに基づいて介護サービス提供機関3は介護サービスを被保険者9に提供し、この介護サービス提供に基づいてICカードには介護サービス管理手段3aにより給付が実施されたことが書き込み記録される。

【0010】そして、介護サービス提供を受けた被保険者9は介護サービス提供機関3に介護料の自己負担分を金融機関あるいは民間介護保険あるいは年金口座から振り込むか直接本人が支払うことにより介護サービス管理手段3aには被保険者9からの入金データが記録される。また、介護サービス提供機関3は被保険者9への介護サービス提供を介護サービス管理手段3aに記録し、定期的に介護サービス提供実績データをシステム管理機関15の代行事務処理手段15aに出力する。そして、システム管理機関15の代行事務処理手段15aに入力された介護サービス提供実績データに基づいてシステム管理機関15は保険機関負担分の支払指示データを資金プール機関1のプール資金会計管理手段1aに出力する。

【0011】資金プール機関1のプール資金会計管理手段1aは代行事務処理手段15aからの保険機関負担分の支払指示データに基づいて介護サービス提供機関3の介護サービス管理手段3aに保険機関負担分支払を金融機関7を介して振り込むか直接支払い、支払完了データをプール資金会計管理手段1aに書き込む。また、被保険者9は定期的に要介護認定機関4に出向き、ICカードに登録されている介護サービス受給実績データを介護認定事務処理手段4aに出力するとともに、被保険者9からの要介護度変更申請に基づき介護度変更申請が認定されることにより、ICカードに登録されている要介護

度の変更の書き込みを行う。そして、要介護認定機関 4 はシステム管理機関 15 への計算事務委託に基づきシステム管理機関 15 に事務費支払を金融機関を介して振り込むか直接支払いを行い、支払完了を介護認定事務処理手段 4a に書き込むものである。

【0012】

【発明の効果】本発明は前記説明によって明らかなように、ＩＣカードを所有する被保険者と資金プール機関のプール資金会計管理手段と要介護認定機関の介護認定事務処理手段と保険機関の保険機関事務処理手段と介護サービス提供機関の介護サービス管理処理手段とシステム管理機関の代行事務処理手段とをリンクし、相互のデータをオンラインあるいはオフライン、被保険者のＩＣカードを介して交換できるようにしたから、複雑で面倒な書類申請を大幅に減らすことができることとなり、多くの要介護高齢者が介護を簡単に受けることができるうえに、事務処理に必要な人員を大幅に低減でき、能率的に福祉施策を多くの高齢者に実施することができる等種々の利点を有するものである。従って、本発明は従来の問

題点を解決した介護保険用カードシステムとして福祉事業にもたらす益極めて大なるものである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施例の概略を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 資金プール機関
- 1a プール資金会計管理手段
- 3 介護サービス提供機関
- 3a 介護サービス管理処理手段
- 4 要介護認定管理機関
- 4a 認定機関事務処理手段
- 5 保険機関
- 5a 保険機関事務処理手段
- 8 ケアマネジャー機関
- 8a ケアプラン管理手段
- 9 被保険者
- 15 システム管理機関
- 15a 代行事務処理手段

【図 1】

